

令和4年度シラバス(国語)

学番56 新潟県立八海高等学校

教科(科目)	国語(現代の国語)	単位数	2単位	学年(コース)	1学年
使用教科書	大修館書店『新編 現代の国語』				
副教材等	浜島書店『LT現代文基本』・浜島書店『パスワード級別漢字』				

1 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) ことばが持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 指導の重点

(1) 基本的な言語事項の修得を重視し、特に常用漢字の確実な修得を目指します。

(2) 文章を的確に理解した上で、自分の考え方を確立させることを目指します。

(3) 自分の考えを的確に表現し、積極的に他者とコミュニケーションを図る態度を育てます。

(4) 自分なりの充実したノートが作らせることを目指します。

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・実社会に必要な国語の技能を身につけるようにしている。	・「話すこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊に創造したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	・言葉を通じて積極的に他者や社会関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、ことばが持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

4 評価基準と評価方法

評価は次の観点から行います。

	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	・実社会に必要な国語の技能を身につけるようにしている。	・「話すこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊に創造したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	・言葉を通じて積極的に他者や社会関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、ことばが持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・観察、実験、式やグラフでの表現の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・授業中の発言、発表や討論への取り組みの観察 ・振り返りシートの記述の分析などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、発表や討論への取り組みの観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析などから、評価します。

5 学習計画

月	単元名	授業時数と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価の方法	
4	1 ことばをひらく	4「C 読むこと」	茂木健一郎『「変わる」ことを楽しもう』 鴻上尚史『コミュニケーションは技術だ』	・筆者の考えを読み取り、「現代の国語」の学習に対する意欲をもつ。	a b c	観察 ワークシート 小テスト	
			ことばの準備体操	・発音や聞き方に注意して話したり聞いたりする。 ・声量や速さ、間、強弱を工夫して音読する。	a b c	観察 ワークシート 発表の様子	
5	2 日本語を使いこなす	7「B 書くこと」	ことばの使いわけ	・場面や目的に応じて適切な言葉を選ぶ ・敬語の正しい使い方や類義語のニュアンスの違いを理解し、適切に使いわけ。	a b	観察 ワークシート 小テスト	
			定期テスト			ab	テスト
				正しく書こう	・正しく適切な表記について理解する。 ・表記や係り受けに注意して、正確で整った文を書く。	a c	観察 ワークシート 小テスト
6			文を整え、文をつなぐ	・あいまいな文や長くてわかりにくい文を避け、簡潔でわかりやすい文を書く。	a b	観察 ワークシート	
			伝わるように話そう	・相手に伝えたいことを、わかりやすく整理して話す。	a b	観察 発表の様子	
7	3 わかりやすく説明する	7「A 話すこと・聞くこと」	山極寿一『人間はゴリラとチンパンジーのどちらに近いか』	・説明のしかたに注意して文章を読む。 ・順序を表す言葉や接続表現、問題提起と答えに着目して、文章の構成をつかむ。	a b c	観察 ワークシート 小テスト	
			定期テスト			ab	テスト
			絵や写真を説明しよう	・絵や写真などの情報を説明する文章を書く。 ・わかりやすい説明のしかたを身につける。	a b	観察 ワークシート 発表の様子	

9			料理レシピを書こう	・目的や読者に応じて、わかりやすい説明になるように情報を整理する。 ・目的や読者に応じて、説明のしかたを工夫して書く。	b c	観察 ワークシート 小テスト	
			ショートスピーチをしよう	・話の構成や展開を工夫して話す。 ・声の大きさや話す速さ、表情や身振りなどを意識して話す。	b c	観察 ワークシート 発表の様子	
4	聞く力を育む	7「B 書くこと」	聞き取りのレッスン	・大切なことを落とさずに、正確に聞く。 ・自分にとって必要な情報を意識して、メモを取りながら聞く。	a c	観察 ワークシート 小テスト	
			ミニインタビューをしよう	・必要な情報を相手から引き出せるよう、質問しながら聞く。 ・話の展開に注意し、話を広げたり深めたりしながら聞く。 ・聞き取った情報を活用するためのメモをとる。	a c	観察 ワークシート 小テスト	
	定期テスト				ab	テスト	
			聞き取ったことをまとめよう	・聞き取った情報を整理したり編集したりし、わかりやすく効果的な文章を書く。 ・読み手からの助言などをふまえ、文章を整えたり、改善したりする。	b c	観察 ワークシート 小テスト	
5	論理を読み取る	4「C 読むこと」	今井むつみ「オカビの胃袋はいくつか」 山崎正和「水の東西」	・主張と根拠、具体と抽象、対比に着目することで、論理展開をとらえる。 ・論理的な文章の要旨を的確に読み取る。	a b c	観察 ワークシート 小テスト	
			6	伝え合いのレッスン	7「A 話すこと・聞くこと」	対話のレッスン	・相手や場面に配慮した言葉遣いや表現のしかたを知る。 ・コミュニケーションにおける言葉以外の要素の大切さを知り、対話に生かす。
	定期テスト				ab	テスト	
11	7	説得力を高める	8「B 書くこと」	意見文の基礎を学ぼう	・意見文の基本的な書き方と、構成のしかたを知る。 ・意見と理由を備えた基本的な意見文を書く。	b c	観察 ワークシート 小テスト
				反対意見を想定した意見文を書こう	・反対意見を想定しつつ、自分の意見を説得力のある意見文にまとめる。	a c	観察 ワークシート
12	8	情報と向き合う	5「C 読むこと」	左藤雅彦「情報の力関係」 小林洋美「世界は私にほほえんでいる」 中嶋亮太「どこもかしこもプラスチック！」	・視点や根拠に注意し、情報を吟味しながら読む。 ・図表などから必要な情報を読み取る。	a b c	観察 ワークシート 小テスト
			定期テスト				ab
1	9	他者を動かす	8「B 書くこと」	魅力的な企画書を書こう	・テーマを決め、適切な方法で情報を集める。 ・集めた情報を根拠として、説得力のあるレポートをまとめる。 ・対象者を明確にし、対象者を説得することができる企画書を書く。 ・企画書に必要な要素を知り、見やすく、わかりやすい企画書をまとめる。	a b c	観察 ワークシート 小テスト
				プレゼンテーションをしよう	・聞き手の心を動かし、目的を達成するために、構成や発表のしかたを工夫する。 ・さまざまな資料を活用しながら発表する。	a b c	観察 ワークシート 発表の様子
3	10	社会に目を向けて	7「A 話すこと・聞くこと」	姜尚中「何のために『働く』のか」 内山節「自分の考えをつくるために」	・筆者の主張を的確に読み取り、それに対する自分の意見をもつ。 ・読み取ったことをもとに、自分の考えを広げたり深めたりする。	a b	観察 ワークシート 小テスト
			定期テスト				ab

計 64時間 (55分授業)

領域ごとの 授業時数合計	A 「話すこと・聞くこと」 21時間	B 「書くこと」 30時間	C 「読むこと」 13時間
-----------------	-----------------------	------------------	------------------

6 課題・提出物等

- ・週1回程度漢字テストを行います。(「パスワード級別漢字」)
- ・単元ごとに、振り返りシートを記入し、提出することとなります。
- ・長期休業中の課題は別途指示します。

7 担当者からの一言

「現代の国語」は、実社会・実生活に生きて働く国語の能力を育成する科目です。実社会に必要な国語の知識や技能を身につけたり、ことばによる見方・考え方を働かせ、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像する力を伸ばしたり、言葉が持つ価値への認識を深めたりすることなどを目指します。授業では、基礎・基本を大切にするとともに、実際に話したり書いたりする学習活動を通して、応用力を高めていきます。